



# 食品ロス削減取組み7割 ロスしがちな野菜はキャベツ

や真空パックを利用「リボベジ」など、多彩なアイデアが挙げられた。

また、食品の値上げがフードロス削減の意識に「影響がある」とした人は22・5%、「やや影響がある」人は38・3%で、合わせて60・8%が影響があると回答している。

調査は5月25日～6月1日に実施、全国の男女2万2248人が回答した。

凸版印刷のグループ会社「食品・食材を購入しすぎであるONECOMPANY(ワン・コンパス)が運営する電子チラシサービス「Shufoo!」(シュフー)は、フードロスに関する意識調査を行った。フードロス削減を日常的に意識している人は75・1%、実際に取組んでいる人は68・7%だった。都道府県別にみると、西日本エリアで割合が高くなる、いわゆる西高東低の傾向がみられた。東日本では首都圏で割合が比較的高く、北海道と東北地方は上位に入らなかった。食品の保存には寒い地域の方が向いていることから、地域の気候やそれに伴い育まれた文化も影響している、と同社ではみている。

「食品・食材を購入しすぎない(46・3%)」「生鮮品が日持ちするように保管(44・6%)」「見切り品等を活用(41・8%)」などが割合で続いた。自由回答では、「余った野菜でレシピ検索」「野菜の皮をチップスにする」「フードドライブを活用」「冷凍保存

フードロスしがちなもの、賞味・消費期限が延びて欲しいものについては、共に「野菜・果物」が40%台で1位となった。フードロスしがちな野菜トップ3は、「キャベツ(14・7%)」「ゴーヤ(14・0%)」「ニンジン、ダイコン(11・9%)。以下、「レタス」「ミ

フードロス削減のために取組んでいること(複数選択)は、「賞味期限を意識」が64・2%で最多となり、以下「冷蔵庫に入っている量を把握する(50・7%)」